

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センターきらら						公表日	2025年 3月 31日			
							2025年 3月 1日				
							利用児童数	70名	回収数	45名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	44				1	・体を動かすコーナー、工作をするコーナーとみんなが楽しめる配置で十分なスペースがある	・子どもたちがそれぞれの遊びを楽しめるように活動ごとにスペースを分けている。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	39	2	2	2	・親が目を離しても安心できる場所にスタッフがいるので助かる ・たまに手が出てしまうお子さんがいると、スタッフが少ないと感じる	・利用者が安心して楽しく遊ぶことができるように、職員の動きについてしっかりと話し合い体制を整える。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	42			3					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44	1			・各部屋にティッシュなどがあり汚れもきれいにする事ができてよい ・冬は寒い ・お庭の落ち葉が多い時が気になる ・子どもが自分で蛇口をひねって手を洗えるようになった ・いつもトイレが綺麗	・部屋の温度調整の確認を行う。 ・毎朝、屋外清掃を行っている。落ち葉はたい肥として使用していることを周知する。			
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	2	1	2	・面談の時に説明される子どもの姿を聞いて、納得できたのでよく見て下さっていると感じる ・時々馴染みのない先生だと、子どもの特性を把握するのは難しいと感じる				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39	1		5	・どこに公表されているのかわからない	・令和7年3月にホームページへ掲載予定			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	42	1	1	1	・子どもの課題と親へのアドバイスが書いてあって参考になった	・携わる職員全員で個別支援会議を行い支援計画を作成している。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	39	2		4	・本人、家族、移行それぞれに必要な項目に設定され、それに沿った支援がされていると思っている。 ・個別療育の目的や意図がわからないため支援計画を反映させているのか実感が無い	・個々に利用者の発達課題に合わせて個別療育を行っている。療育内容のねらい等保護者にわかりやすく説明を行う。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	40	2	1	1	・個別支援計画が説明されるのが遅く感じる	・事業所の年間計画を確実に利用者さんに説明ができるように努める。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	6		5	・たくさん遊びがあり、子どもの興味、関心をひきつけ、成長につなげてくれている ・固定化はされていないが少し偏っていると感ずることがある	・活動内容は、日々職員で話し合いを持ち内容を検討している。今後も発達段階に合わせた療育を提供する。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	21	9	3	12	・園訪問を定期的にしてきて、園の先生と情報共有してくる ・事業所としての交流は特になかった	・地域との交流については今後検討する。			
保 護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	44			1	・入園前にわかりやすく説明してもらった				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41	2		2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	38	1	2	4	・定期的に勉強会やおはなしの会を開催してくれている	・母子通園部門では、定期的に開催している。法人全体では、開催できていないので今後検討する。			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	41	3	1		・連絡帳を使って子どもの様子を共有できている	・並行通園では連絡帳で家庭での様子や療育中の様子の理解を深めている。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	3	1		・常に子どもの状況を共有できアドバイスをしていただいている ・面談がもう少しあった方がいい ・個別の相談によくのってもらっている	・年間計画を基に面談を行っている。保護者からの希望があれば随時対応している。			

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43	2			・面談でよいところを褒めてくれ、色々アドバイスをもらえて助かっている	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	34	5	3	3	・保育参観で親同士やきょうだいの交流ができてよかった	・定期的に保育参観を行い、保護者同士が交流できる場を設けている。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38	1	1	5	・自分が悩んでいる、辛い時にすぐに時間を作って相談にのってくれた	・保護者からの相談には迅速に対応している。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	41	1		3	・毎回連絡帳で様子を細かく教えてもらっている	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	34	3	2	6	・常にきららネットで連絡してもらっている	・施設の掲示板だけでなく、ホームページを活用して情報発信に努める。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	1		2	・部屋の棚の上に名前の書かれた提出物が置かれている時があるので配慮してほしい	・個人情報の取り扱いについては職員全体で徹底し、漏洩のないように留意する
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	5	1	8	・きららネットや張り紙などでマニュアルを貼りだしてもらっているのd助かります	・各種のマニュアルは常に保護者の方に確認していただける場所に置き、おはなしの会で説明を行う。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38	1		6	・行なわれています ・先生方がやっているのは知っているが、子どもが参加しているのかわからない	・各種の訓練を行い、掲示板や連絡帳で報告をしている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37	1		7	・行われていると思います	・散歩のルートの確認、遊具の点検、不審者の対応訓練を行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	44			1	・すぐに連絡をもらっている	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	44			1	・とても安心して通っており満足している	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	44	1			・先生やお友達のことが大好きでいつも通所を楽しみにしている ・通所日でなくても「いく」と言うくらい楽しみにしている	・今後も利用者が楽しく過ごせる場が提供できるように努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	2			・先生の対応がステキで自分もこうしようと思えるようになる ・少し高めの目標設定かなと思うことがあるが、配慮された活動と一人一人の課題設定が細やかにされているので、楽しく通って成長することができたと思う ・個別の時間をもっと増やしてほしい	・個別療育の回数は現状限られている。今後の検討課題である。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援センターきらら	公表日	2025年 3月 31日
------	---------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	5	・多岐にわたる保護者への相談援助に真摯に向き合おうとすると、職員の配置が不足する場面が想定されるため事業所内で連携を図り対応している ・職員間で業務分担を行い、負担が集中しないように配慮しているが常勤職員の負担が多いため今後の課題	今後も保護者の方に対応できるように職員間で連携を図る。 業務については、法人全体で見直し、職務分担できるようにする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	・困ったことがあれば相談できるが、こちらかその機会を作るように動く必要があったと思う	日々の療育の振り返りで、職員間でしっかりと話し合いを行う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	5		第3者委員会の評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12			

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1		活動内容については職員で話し合い、より良い療育が提供できるように努めている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	2		みどりファイルを活用して情報の提供はしている。小学校との連携については今後の課題である。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11	1		地域の園や学童保育、体操教室等に対して研修会を開催している。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11	1		職員には研修会の情報を提供し、積極的に参加している。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	11	1		担当職員が参加している。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。					
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	2		年齢が低いため、兄弟同士の交流の機会は行っていない。法人で開催するイベントには家族で参加していただいている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	3		地域に開かれた事業運営は今後の課題である。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	1		法人全体で職務を分担し、非常災害に備えた備品の確認、訓練を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1		机を分けて保護者が作った弁当を食べている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	1		安全計画について全職員で周知し、対応を徹底していく
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1		契約時に説明をしているが、掲示するなど検討する
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	2		必要な身体拘束について意見を出し合い、必要な内容については支援計画に記載していく	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターきらら		
○保護者評価実施期間	2025年3月10日		～ 2025年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	2025年3月10日		～ 2025年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種が連携して支援を行うことができ、それぞれの視点でお子さんの発達や課題などを出し合いながら療育プログラムに活かしている事	集団での療育、専門職による個別療育を実施しており、それぞれの視点でお子さんに向き合い、情報共有しながら連携しあっている事 全職員での支援会議、個別療育後のカンファレンスなどを実施している事	同法人内で、親子療育、並行通園、保育後療育、放課後等デイサービスを運営しているため、自事業所から移行後のお子さんの様子についての連携を深めていきたい。
2	・身体をめいっぱい動かして遊べるスペースと、吊り具、斜面板、平均台などの大型遊具をそろえており、多様な遊びが提供できる設備が整っている事	発達の土台を築く年齢のお子さんたちに対して、必要な遊びとは何かを常に振り返り、遊びの内容を見直している事 毎日の療育を全職員で振り返り、当日のお子さんの様子を共有しながら次の活動展開を話し合っている事 月単位、半年単位などで療育内容について話し合いを持ち、短期長期的な見直しを持って療育を行っている事	アセスメントや療育内容について、同法人内の作業療法士、言語聴覚士などの連携を深め、より良い支援につなげている
3	・平常から地域の園との連携に力を入れており、定期的に園訪問をおこなったり、連絡帳を通じて療育の様子をお伝えしたりしながら情報共有に努めている事	保護者の方にも、連絡帳を活用して園との情報共有を進めている事 連絡帳に記載されている保護者からの情報の中で、園での様子を共有する必要性を感じた時は、速やかに承諾をいただき園にも連絡を入れている事	「みどりのファイル」を活用し、事業所から支援計画やモニタリングを説明した際は、保護者の方に園にも情報共有を求め、成長の過程や発達課題を共有していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報発信の面で、各種マニュアル、避難訓練、安全計画等、掲示や常に手に取れる場所に閲覧可能にしているが、周知がされていない場合がある	情報発信の内容が多岐にわたるので、わかりやすい掲示や口頭での周知には限界がある	各種避難訓練の実施などは、掲示と口頭で知らせているが、さらに連絡アプリでのお知らせを検討する 懇談会、モニタリングの説明時など、定期的に関覧ファイルについてお伝えし、周知を徹底する
2			
3			